

# 「第22回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水2018韓国大会」報告

研究企画発表委員会

委員長 清水 勝公

「海洋深層水2018韓国大会」が、2018年10月18日(木)、19日(金)の両日、大韓民国高城郡の「国会研修館」において、開催されましたことを報告します。

大会の概要は以下の通りです。

【共催】 海洋深層水利用学会・韓国海洋深層水利用学会

【協賛】 江原道高城郡・京東大学

## 【研究発表企画委員会】

委員長 清水 勝公 (清水建設株式会社)

委員 白石 學 (一般社団法人マリノフォーラム21)

野田 浩之 (静岡県水産技術研究所)

大貫 麻子 (一般社団法人海洋産業研究会)

実行委員会 (開催場所対応委員会)

委員長 キム ヨントク 金 永徳 (カトリック関東大学未来融合学科 教授)

副委員長 オー チェソン 魚 再善 (京東大学海洋深層水学科 教授)

委員 キム サン ス 金 尙洙 (韓国古河産業(株) 部長)

キム ヨンファン 金 庸桓 ((財)慶北海洋バイオ産業研究院 博士)

キム ミジン 金 美進 (京東大学海洋深層水融複合学科 助教)

## 【開催状況】

### 開会挨拶・来賓者挨拶

高橋 正征 (海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授)

魚 再善 (韓国海洋深層水利用学会会長・京東大学海洋深層水学科教授)

李 敬一 (歓迎挨拶・高城郡郡守)

全 成龍 (記念挨拶・京東大学総長)

崔 文洵 (来賓祝辞・江原道知事)

李 亮壽 (来賓祝辞・国会議員)

曹 基烈 (来賓祝辞・国会議政研修院院長)

韓 基俊 (来賓祝辞・海洋水産部海洋産業政策官(局長))

咸 炯完 (来賓祝辞・高城郡議会議長)

### 研究発表

海洋・水質／生物・水産／農業・畜産関連：12題 (座長：川北 浩久・高知県海洋深層水研究所所長)

健康・医療関連：5題 (座長：孫潤姫・慶北大学病院 教授)

利活用システム関連他：7題 (座長：都亨基・韓東大学生命科学部 教授)

ポスター発表：11題

Special Symposium Session : Future prospect of deep sea water utilization 「Vision for deep sea water conservancy use」

Chairman Kouji Ohtsuka(Professor of Osaka Prefecture University graduate school, Vice -president of the Deep Ocean Water Applications Society)

Keynote session

S1. Past, present and the future of resource applications of deep ocean water (DOW) in Japan

Masayuki Mac TAKAHASHI(The president of Deep Ocean Water Applications Society, Emeritus professor of the Univ. of Tokyo)

S2. The Current Development of Deep Ocean Water in Taiwan:

Issues, Themes and Strategy

Jin-Yuan Liu(President of Taiwan Society of Deep Ocean Water Resource Application; Chair Professor of Department of Electrical and Computer Engineering, and Director of Center for Ocean and Undersea Technology Research, Tamkang University, New Taipei City, Taiwan, R.O.C.)

S3. Current State and Future Prospects of Use and Utilization of Deep Ocean Water in South Korea

Jesun Uh(Department of Deep Ocean Water, Kyungdong University, Korea)

S4. Actual product development and tasks of Ako Kasei Co., Ltd.

Koji Nakagawa(Director of Ako Kasei Co., Ltd.)

S5. Expanding Deep Ocean Water Resource Applications in Taiwan

-In case of Kung-Long Enterprise-

Yu-Chi Vickey Tseng(Kung-Long Ocean Biotech Co., LTD., Taiwan)

S6. Gangwon Deep Sea Water Company Introduction and Vision

ChounHo Na(Director of Gangwon Deep Sea Water Co., Ltd. Korea)

【見学会】主要5施設の視察を行なった（写真参照）。

【参加状況】参加者：日本：58名、台湾：17名、韓国：79名（内、京東大学学生30名）  
総員154名（+スタッフ20名）

【関連開催事項】

- (1) 学会式典「3国学会間協定書」締結式 10月18日14:00
- (2) 学会式典「学会賞及び特別賞」授与式 10月18日14:25
- (3) 歓迎会（韓国海洋深層水利用学会主催） 10月17日18:00
- (4) 江原高城民俗文化芸術公演 10月18日18:15
- (5) 懇親会 10月18日18:30

本大会は大韓民国における初めての大会であり、韓国海洋深層水利用学会殿及び京東大学殿の絶大なるご支援・ご協力と韓国における海洋深層水関連企業様のご理解とご協力により行なわれたもので、首都ソウルから 300km 以上離れた遠隔地にも係らず、多くの参加者を得て、非常に盛大な大会となりました。

また、京東大学・Uh教授の特別シンポジウムでの発表「及び見学会での深層水関連諸施設視察を通じて、韓国における深層水取水施設や利活用の進展が確実に進んでいることに驚かされました。

一方、本大会では日本・台湾・韓国の3国間の深層水学会の協定が締結させるとともに、大会では“海洋深層水利活用の将来展望「深層水利活用のあるべき姿」”に関して、3国の学会会長より基調講演と3国の代表的企業からの講演が行なわれ、その現状と課題、将来展望について話され、3国からご出席の皆様方も含めた意思の共有化が図れたものと考えます。

最後に、大会開催に当りましては京東大学の皆様及び学会の皆様には多大なご協力を得て準備・運営することができましたことを、本紙面を通じまして厚くお礼を申し上げます。また、会員の皆様方には、日頃、本学会活動にご理解とご協力を賜りまして、当大会の開催責任者として感謝申し上げます次第です。次年度は「鹿児島大学内稲盛会館 10月10日-11日、甕島 10月12日」での開催となります。スケジュール調整の上、多数の御参集を頂きますようお願い申し上げます。

以上